

DIMCLIP

ディンクリップ

特殊な凹みとコンパクトな支持金物で
ガラスと金物を部分的に接合するフレームレスガラススクリーン構法です。



KDビル (福岡県北九州市)
設計: 株式会社久保建築設計 様

従来は強化ガラスリブに貫通孔を明けて支持金物を接合していましたが、フロートガラスに孔加工することなく特殊な凹みを設けることで、支持金物の接合を可能としたガラスファサードです。



■ ガラス

ガラス製品 P.36

対応ガラス



フェイスガラス構成

単板	FL、HS、PT+飛散防止フィルム
合わせ	FL+FL、HS+HS、PT+PT
複層	FL+A12+FL、FL (Low-E) +A12+FL、HS+A12+HS、HS (Low-E) +A12+HS

リブガラス構成

単板	FL19
----	------

※ガラス構成は、設計条件、ガラスサイズに応じて構造計算により決定します。

加工可能寸法

最大	2900×9500mm
----	-------------

■ 納まり参考例

部分加工のため、支持金物をコンパクトにすることが可能な、フロートガラスと金物を接合する新しい接合システムです。(特許登録済み)

